

事業番号	15 04 02	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・室	特別支援教育課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	H25 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	視覚障がいや聴覚障がいのある乳幼児に対し、早期相談支援、早期教育ができる体制を整え、言語や社会性の発達を最大限に促す。				
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障がい・聴覚障がいのある乳幼児に対しては、その障がい特性から、ものの見方・聞き方・捉え方や人とのかかわり方などの言語や社会性の習得の土台となる部分の学習は、早ければ早い程効果があり、必要不可欠なものである。 視覚障がいや聴覚障がいのある乳幼児及び保護者に対して、専門的な知識及び技術を必要とする支援を行える体制を構築、実践する。 				
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）	【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施：実施は困難	<ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援法（都道府県の責務） 教育基本法第十一条 学校教育法第二十四条 			
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）				
	早期からの相談支援、教育対応を行う視覚・聴覚障がいのある乳幼児の言語や社会性を促す。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績	H28	
			(当初)	(決算)	(当初)
1 早期支援指導員配置	直接	・早期支援指導員4名を配置し、早期支援教室等において、乳幼児とその保護者を対象とした相談支援を行った。	12,409	11,972	12,569
2 早期教育相談員配置	直接	・早期教育相談員4名を配置し、幼稚園、保育園等に在籍する幼児への通級による指導を行った。	14,357	13,968	14,376
		合計	26,766	25,940	26,945

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
	当初予算	26,691	26,766	26,945				目標	成果	達成状況	
	補正予算				早期支援教室、幼児通級希望への対応	100%	100%	100%	100%	達成	100%
	合計(A)	26,691	26,766	26,945							
	Aの財源	一般財源	26,691	26,766	26,945						
		県債									
		国庫支出金									
		その他	0	0	0						
	決算額(B)	25,272	25,940	-							
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.05	0.05							
	概算人件費(C)	828	396	396							
概算事業費(B(A)+C)	26,100	26,336	27,341								

目標に対する成果の状況	当該教室の利用希望者全てに相談支援等の必要な対応を行うことができた。
-------------	------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	障がいを持つ子を乳幼児の頃から支援していくことは、健全な成長に繋がるだけでなく、保護者にとっても有益な知識や情報を得たり、専門家に相談ができる貴重な場となる。今後も多様なニーズに対応していくため、相談機能の充実を図りながら事業を継続していく。